



## 年頭のご挨拶

会長 岡本 重文



金浦地区の皆様、新年おめでとうございます。それぞれに希望にあふれる”新しい年”をお迎えになられたことと存じます。

月日の経つものは速いもので、ついこの間昭和から平成に代ったという感覚でしたが、平成の御世も30年という節目の年を迎えています。当地区まちづくり協議会も発足して7年という同様に節目の年を迎えることができました。これも地域の皆様のご支援、ご協力をいただいた賜物と衷心より厚く御礼申し上げます。

さて私たちまち協の活動は、今まで アンケートに基づいた皆様方のご意見に添ったかたちで進めさせていただいた心算でしたが、解決すべき課題も多く、満足のいく成果が挙げられたどうか自信はありません。しかし、地域の期待に可能な限り応えていくためにも広報誌第6号で紹介をしましたように、新しい活動目標や指針を定めることで、少しでも活動の質をあげていきたいと思っています。今後とも、代議員全員が一丸となり、少しでも住みやすい金浦地区まちづくりを目指して頑張ります。地域の皆様方の旧倍のご指導、ご支援をお願いいたしまして年頭のご挨拶と致します。

## 『金浦地区まちづくり活動の紹介』を行ってきました！！

お隣りの『井原市まちづくり協議会と井原市』を訪問

平成29年8月24日(木)18時から井原市市民活動センター『つどえーる』で行われた「井原市パートナーシップ・リーダー研修」にお招きをいただき、金浦まちづくり協議会岡本会長他3名が参加しました。これは、井原市が行っているまちづくり活動に寄与するため、当地区の活動事例の紹介を求められたもので、「金浦地区まちづくり活動の軌跡」、「地域おこし協力隊が見た地区のまちづくり活動」についてを、それぞれ筒井副会長と地域おこし協力隊の相澤麻有子氏で、活動の概要について紹介をしました。



【研修に参加した井原市まち協、井原市の関係職員】

この日は、井原市まち協13箇所と井原市の関係職員等で50名を超える参加があり、「笠岡市まちづくりアドバイザー」小川先生の講演や新山地区で「戸倉邸」を運営している井口ご夫婦の経営に関する苦労話も加わり、研修会も盛況なうちに閉会となりました。

## 最近のまちづくり活動の報告

6月～12月を中心にした1年間の活動

### 1 企画部会

#### (1) 公民館活動に対する支援と共催

平成27年度から支援と共催を行っている公民館事業のうち、敬老会・地区民体育祭・芸能文化祭・ふれあい演芸会の4事業について、今年度も企画部会を中心に協働を行っています。



#### ア 敬老会



【敬老会案内状発送作業と金浦幼稚園児等による肩たたき】



【劇団たんぽぽ座による演芸】

9月10日(日)金浦小学校体育館において平成29年度地区敬老会が開催されました。今年は、対象者823名のうち116名の方に参加をいただきました。

#### イ 地区民体育祭



【地区民体育祭準備の打合せ会と提供したPRグッズ等】

晴天に恵まれた9月24日(日)、金浦小学校校庭において第37回地区民体育祭が開催されました。

まちづくり協議会もこの体育祭の運営に参画すると共に、参加賞品等としてのPRグッズを提供しました。



【玉入れ、地区対抗リレー競技】

#### ウ 芸能文化祭・ふれあい演芸会

11月26日(日)金浦小学校体育館において第11回 芸能文化祭が開催されました。これは、地区の皆様の生涯学習発表の場として公民館の主催により行われるもので、今年も、絵画や書道をはじめとした多くの力作が出展されました。

この日は、世代間交流事業で金浦小学校5年生が育てたもち米を使った「餅つき」も行われ、出来上がった餅の一部は参加者にもふるまわれました。

また、翌週12月3日(日)には、金浦公民館においてふれあい演芸会も行われ、「すみれ会」による文化琴の演奏を堪能しました。



【芸能文化祭とすみれ会清風グループが文化琴を披露したふれあい演芸会】

#### (2) 社会福祉協議会活動との協働

#### ア 世代間交流事業(金浦小学校5年生児童の農作業体験)への協力

今年も、社会福祉協議会金浦支部、金浦公民館、まちづくり協議会に加えて地区ボランティアと金浦小学校5年生の児童間の「世代間交流事業」として、農業体験が行われました。

6月21日(水)の田植えに始まり、10月23日(月)には稲刈りを、その後脱穀したもち米を用いて11月26日(日)の芸能文化祭には餅つきを行いました。



【金浦小学校5年生による田植え・稲刈り・餅つきの様子】

イ 金浦中学校生徒による“あいさつ運動”と認知症研修センターでの“演奏会”への参画

6月28日(水)に行われた金浦中学校生徒による“あいさつ運動”に、また10月15日(日)に認知症研修センターでの“演奏会”にも参画させていただきました。



【金中正門前での“あいさつ運動”と認知症研修センターでの“演奏会”】

ウ 福祉委員講習会の開催



【社協金浦支部役員諸氏による寸劇“ハルさんの笑顔”風景】

広報誌第5号で紹介した「認知症ひとり歩きSOSネットワーク」についてを、福祉委員の方々に徹底するため7月30日(日)に、社会福祉協議会金浦支部役員諸氏が、「ハルさんの笑顔」と題して寸劇を披露した。玄人はだしのなかなかの好演でした。



(3) 買物支援事業(買物タクシー運行)の運行を旭が丘地区に拡大

袖解地区に加えて、今年6月から旭が丘地区も買物支援事業に加わることになりました。登録人員は13名ですが、袖解地区の“いきいきサロン”メンバーと異なり、月間2回の運行では、スケジュール調整等でメンバーが揃って出かけることが難しくなっています。今後の解決すべき課題となっています。



【山陽マルカ笠岡店で買い物後に談笑、帰路につく旭が丘地区メンバー】

(4) 伝統文化保護活動支援

例年行われている「ひったか・おしぐらんど」が、5月27日(土)から28日(日)にかけて挙行され、まちづくり協議会員も駐車場や交通整理を行うなど行事の円滑な運営に協力しました。



2 防災部会

(1) 生江浜地区で防災研修及び飯盒炊飯体験の実施



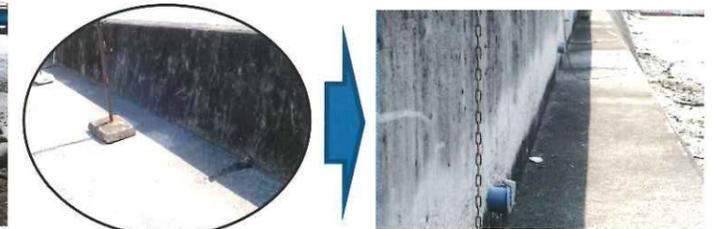
【危機管理課職員による防災研修と竹筒飯盒炊飯の様子】

7月2日(日)生江浜地区において地域の子供達を含め65名が参加して、笠岡市危機管理課による防災研修を実施すると共に、栄養委員と協力して災害時を想定した親子での飯盒炊飯体験を行い、防災意識の醸成を図りました。



(2) 金浦湾鉄南地区へ防潮堤が完成

今年度、金浦鉄南地区で一部残っていた防潮堤の整備が完成しました。また、高潮時に手作業で行っていた「雨水抜き穴の木栓による潮止め作業」を省略するための設備改良も、併せて完了した。



(3) 防災用資機材の主な配備状況

防災部会では、各種災害に備えて「防災用資機材」を整備してきたところです。地区毎に、配備されている防災用資機材の主なものは次のとおりです。

下表に掲げた資機材以外にも、給水タンク、消火器、スコップ、つるはし等も整備しています。

いざという時に十分活用できるように、日頃から自地区の配備物品についての確認や整備を、こころ掛けるようにお願いします。

平成29年11月現在

地区・保管箇所	保管責任者 連絡先	主な防災用資機材配備数													
		保管庫	ハンディマイク	発電機	投光器	チェンソー	ジャッキ	シート	担架	一輪車	リヤカー	救急セット	脚立	土嚢袋	テント
金浦 鉄南 (ようすな会館)	筒井 清人 66-4461	(1) 2	2	(1) 1	(2) 2	(1) 1	(2) 2	(1) 2	(2) 1	2	(2) 2	1	1	200	1
金浦 鉄北 (八幡神社参道横 新川会館横、 郵便局前)	谷本 弘太郎 66-2469	(2) 3	1	(1) 1	(2) 2	1	(5) 5	(2) 2	(2) 2	(4) 5	(3) 3				1
吉浜 北 (古比須公会堂 銀山公会堂)	枝広 一芳 66-0496	(2) 3	2	(2) 2	(4) 4	1	(4) 4	(2) 2	(2) 2	2	(3) 3	1			1
吉浜 南 (吉浜駐在所横)	北川 正之 66-0958	1	3	1	(2) 2	1	(2) 2	(2) 2	(1) 2	2	(2) 2	1			1
生江浜 (生江浜会館前 迎西地区、 公民館東広場)	藤井 一男 66-0290	(2) 4	4	(3) 3	(6) 8	1	(6) 6	(2) 2	(3) 4	(2) 4	(4) 4	1	1	300	1
旭が丘 (集会所横公園)	高橋 邦彦 66-1055	(1) 2	4	(1) 1	(2) 2	1	(2) 2	(2) 2	(1) 2	(2) 2	(2) 2	4	1		1
大河 (迫集会所、 消防団1部 機庫前)	塩飽 義史 66-1661	(3) 4	1	(1) 2	(4) 4	1	(4) 4	(2) 2	(2) 3	(2) 4	(3) 3	1		20	1
相生 (相生公会堂東)	高細 道昭 66-1452	(1) 2	2	1	(2) 2	1	(2) 2	(2) 2	(1) 2	2	(2) 2	2	1		

※ 配備数上段( )の数値は、まちづくり協議会の予算で購入した資機材の数(再掲)を示す。

※ 防災資機材については、予算上の関係から、必要度の高い物品から順次整備しています。

(4) 消火栓格納箱の一斉点検と旧型消火栓開閉コックの取替

防災部会では、地区内消火栓格納箱内の収納品の一斉点検を行うと共に、消火栓蓋に対応した新型の十字鍵開閉器と取り替えた。

(全36か所を取替)



3 交通防犯部会

交通防犯部会では、継続して金浦小学校の一斉下校時等に併せ適宜適切な時期に、児童の見守りや防犯パトロールを実施すると共に、通学路を主体とした道路整備を進めています。

- (1) 下校時の児童見守り活動 ⇒ 小学校7地区からまち協会員及び地区ボランティア総勢113名により、交通量の多い横断歩道や踏切等見守り活動を継続して実施している。
- (2) 青パト防犯パトロール ⇒ 登録している青パト10台を使用し、地域安全推進員6名を加えた23名により小学校の始終業時等の一斉下校時を中心に活動している。
- (3) 通学路を中心とした道路の安全確保 ⇒ 前年に引き続いて、側溝の転落防止柵、道路標識の改良、舗装修繕など通学路を中心にして整備を進め、安全の確保に取り組んでいる。



【一斉下校時に防犯活動を行うために集合した青パト・下校時の児童見守り活動】



【平成29年10月10日(火)笠岡警察署で行われた青パト防犯パトロール出発式】

4 環境部会

- (1) ゴミ捨て防止看板設置に加え河川・ため池への転落防止警告看板の新設

環境部会では、ゴミポイ捨て防止啓蒙看板の設置に加えて、今年度から河川への転落防止警告看板の設置を始め、相生地区の木ノ目池を初め、大河地区1か所、吉浜地区2か所及び旭が丘地区1か所のため池等に設置しました。



【相生地区木ノ目池転落防止柵に設置された転落防止警告看板】

(2) ゴミ捨て防止啓蒙看板の追加設置

ゴミ捨て防止啓蒙看板を大河他2地区7か所に追加設置しました。これで地区内に設置した「啓蒙看板」は、15か所となりました。



【金浦鉄南地区に追加設置されたゴミ捨て防止啓蒙看板と防止柵の設置】

(3) 各地区で環境整備活動を実施

環境部会委員の発議等により、各地区での自発的な清掃作業など環境改善が進んでいます。住みよいまちづくり、地域づくりに繋がればいいですね。



【8月6日相生地区で実施された町内清掃と集められたゴミ】



【7月23日金浦鉄南地区で実施された町内一斉清掃】



御存じですか！ No.Ⅸ  
民生・児童委員制度とは



民生委員・児童委員制度とは

民生委員は、『民生委員法』に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。給与の支給はなく(無報酬)、ボランティアとして活動しています。また、民生委員は、『児童福祉法』に定める児童委員を兼ねることとされています。なお、民生・児童委員の一部は、厚生労働大臣から「主任児童委員」に指名され、子供や子育てに関する支援を専門に担当する委員として、平成6年1月に制度化されました。

1 民生委員・児童委員の活動の紹介について

常に民生・児童委員は、「公平・公正」「人権への配慮」等を心がけ、次の7つのはたらきを行っていますので、お困りごとなどありましたら下記委員まで、遠慮なくご相談下さい。

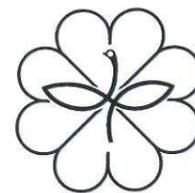
- (1) 日常的に担当する区域内住民の実態や福祉ニーズを把握します。
- (2) 地区内住民が抱える課題について、相手の立場にたち、親身になって相談にのります。
- (3) 社会福祉の制度やサービスについて、その内容や情報を住民に提供します。
- (4) 住民がそれぞれのニーズに応じて福祉サービスが得られるように、関係行政機関・施設・団体等に連絡し、必要な対応を促すパイプの役割をはたします。
- (5) 住民の福祉ニーズに対応した適切なサービスの提供が得られるように支援します。
- (6) 住民が求める生活支援活動を行い、また支援体制をつくっていきます。
- (7) 活動を通じて得た問題点や改善策についてとりまとめ、必要に応じ「笠岡市民生児童委員協議会」とおして、関係機関に改善意見等を提起します。



2 金浦地区の民生・児童委員の紹介と担当区域

金浦地区 14名		地区会長 筒井 清人	副会長 内尾 京子		
担 当 地 区	委員 氏 名	担 当 地 区	委員 氏 名		
金 浦	浜側、新田、西沖3、浜新涯西・東	筒井 清人	生 江 浜	1区～4区、迎西	藤井 修二
	東沖1・2、西沖1・2・4	山田 廣美	旭が丘	5区～8区、北山下、ニュータウン	藤井 真由美
	東、中、西上町、西町、北上町、新川	横山 三枝子	大 河	全域	内尾 京子
	宮の下、宮の下南、中川、田方	笠原 安子	相 生	全域	清水 恭道
西本町東・西、東本町、北本町	塚原 早苗	相 生	相生、古比須(吉浜)		久川 恭平
鉄北	河相 和一郎	主任児童委員	金浦地区全域		坂本 千恵
鉄南・舟隠(生江浜)	中塚 正子				原田 美佐子

3 民生・児童委員制度の歴史とマーク



この制度は、大正6年に岡山県で誕生した『済世顧問制度』を始まりとします。昭和21年に民生委員令の交付により、名称が「民生委員」に改められ現在に至っています。

また、民生児童委員の襟章などに用いられているこのマークは、幸せのめばえを示す四葉のクローバーをバックに民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合せ平和のシンボル鳩をかたどって、愛情と奉仕を表しています。

伝統産業の「麦稈真田」を“学び伝える”

新たな活動を開始しました！

今年度から麦稈真田の伝統産業を学び伝えることを新たな活動として始めました。麦稈真田とは主に麦わら帽子などに使われる麦わらで編まれた組みひも状のものをさします。その麦稈真田が金浦で作られていた記憶がなくなろうとしていることに、もったいなさを感じ今年の春から当時の様子を知るお年寄りに聞き取り調査を始めました。



話を聞いて分かったのは手間がとてもかかる大変な作業であったということ。しかし時には話をしながら近所同士集まって真田を組んだりして、今の生活にはないゆっくりした時間が流れていた情景が聞き取りをした皆さんの話から想像できました。この伝統産業を伝えていくにはまずは自分でやってみなければ何も分からないと思い、同じ協力隊の六島の井関竜平さんから二条大麦を分けてもらい、麦を節ごとに落とすことから始めました。麦の選定が終るとそれを麦わら帽子のことでよくお世話になっている高橋さんのところへ持っていき、四菱という組み方を教えてもらいました。



そして麦稈真田を知らない世代に麦稈真田と金浦の関係を学んでもらうため「町家でクラス」というイベントの1プログラムとして「金浦まち並み散歩とおじいちゃんに教わる麦稈真田組み」という企画を11月19日(日)に開催し、市内外から来ていただいた約15人の方には麦を選定して真田を組んでもらう一連の作業を体験してもらいました。

ここで講師としてお世話になったのは普段、竜宮荘で活動されている将棋クラブのメンバー、杉原さん、藤原さん、松浦さん、松成さんでした。皆さんとにかく楽しそうに参加者の方に麦稈真田のことや町のことをお話ししてくださり、とても楽しい会となりました。他にもまち歩きの際にご協力いただいた報恩寺さん、Siruhaさんのあたたかいおもてなしがあったおかげで金浦の魅力が参加者の皆さんに伝わりました。

このイベントで感じたことは麦稈真田もご協力いただいた皆さんもこのまちの光であり、まちを明るくしてくれる存在であるということです。今後も引き続きまちの光を伝えていける活動を続けたいです。

独り暮らし高齢者の  
緊急時等の連絡手段を補完するため

まちづくり協議会で「ワイヤレスコール機器」  
の貸出を始めました。・ご利用をお待ちします。



独居高齢者等に対する緊急時見守り体制の整備について

緊急時等における、独り暮らしの高齢者の連絡手段としては、本人の健康状況等によりあらかじめ「笠岡消防署」に申し出て、その旨を登録しておく方法があります。

これは、緊急事態が発生した場合、NTT等の電話回線を通じて本人が連絡を行い、消防署救急隊員が救急車で直ちに駆けつけることとなりますが、予め登録しておくことによって、短時間に、しかも正確に行先が把握できるシステムとなっています。

また、広報誌等でお知らせしている『いのちのボタン』の仕組みもありますが、いずれも事前に登録なり、ボタンや緊急対応カードを準備しておく必要があります。

そこで、まちづくり自治協議会では、これらの仕組みをさらに補完するため、「ワイヤレスコール機器」を購入し、これを必要とされる方に下記の条件にて貸出をすることとしました。

『ワイヤレスコール機器』とは？

小型の送受信機で、市販もされています。通話機能はありませんが、送信機のボタンを押すことにより受信機へ「警報」を知らせます。



受信機

送信機

※ワイヤレスコール機器設置例



(2人以上の世帯→受信機を設置)

(独居高齢者世帯  
→送信機を設置)

『ワイヤレスコール機器』の貸出条件

- 1 上図のように、近接する二世帯のうち一世帯が独居高齢者の場合などで設置が可能となります。但し、事前に近接する世帯と所属町内会とのコンセンサスを得ていること。
- 2 貸出料金は無料ですが、電池代は利用者負担とします。
- 3 台数に限りがありますので希望者多数の場合は、必要性の審査を行うことがあります。

## 文化財の保護活動のためのネタを探して『まち歩き』を実施

今年度制定した活動目標・活動指針を円滑に進めるためのネタを探して、笠岡市まちづくり課職員・まちづくりアドバイザー小川先生同行のもと、「金浦地区まち歩き」を実施しました。神社仏閣をはじめ地区が持っている文化財等の保護や最近増加してきている空家の活用などを主眼に置いて、地区の実態を把握するのがねらいでした。



【竜宮荘・菅原神社等を巡ったまち歩き】

### 編集後記

金浦地区まちづくり協議会は、発足して7年を迎えることができました。広報誌第6号で紹介しましたように、新しく活動目標と活動指針を定めて“皆が住み続けたいと思うまちづくり活動”を進めてまいります。地域の皆様のさらなるご指導ご鞭撻を戴ければ幸いに存じます。なお、広報誌6号の記事に一部誤りがありましたので、お詫びして次のとおり訂正を致します。

5ページの笠岡市地区担当職員が、市の定期異動に伴って塩飽昌之氏が建設事業課の國司知之氏に、また川上めぐみ氏が市民課の加藤奈緒子氏に交代しました。また、7ページ地域おこし協力隊レポート冒頭の写真下解説の東妙見山とありますが、正しくは東行者山の誤りでした。